

第3回新型コロナウイルス感染症対策に関する調査

2020年3月24日

<調査概要>

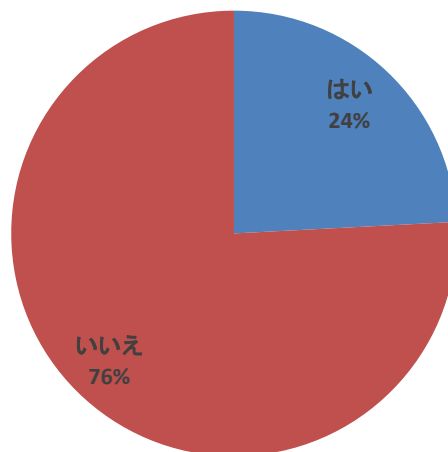
目的: メキシコ国内での感染拡大が懸念される状況下での各社の対策に関して把握する。

実施期間: 2020年3月19日～2020年3月23日

回答数: 182社

<調査結果>

1. 日本からメキシコへの出張を許可していますか。



■ 「許可している」場合:

- 直行便の利用のみ許可。ただし、不要不急の出張は避ける。
- 日本の警戒レベルがまだ2であるため。
- 日本のルールに準ずる
- 必要性による条件付きであるが、今のところ該当者なし
- 日本からの出張が不許可
- 但し、マスク着用指示。健康調査実施
- 入国後原則14日間隔離
- 規制はしているが、社長判断にての許可者あり
- 緊急及び重要性で判断

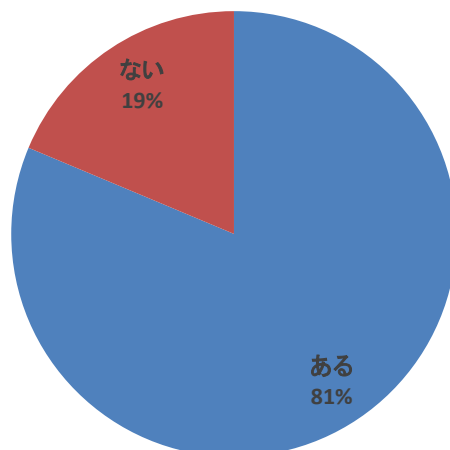
■ 「許可していない」場合:

- 出張全面禁止
- 不要不急の海外出張は地域問わず原則禁止
- 但し、事業継続上必要と判断される場合は許可
- 業務関連は中止
- 3月13日付で国境を越える出張が不可となった。
- 4月15日まで不要不急の場合は原則禁止。
- 現在、日本側からのメキシコへの出張要望も無いですが、あった場合はオンライン会議にて依頼

する予定。

- 会社から OK がでるまで日本から海外出張禁止
- 客先で日本からの出張者に対応した者の出入りも禁じる客先が出だしたため、禁止しております。
- メキシコ企業のために基本的に日本からの出勤はありません。しかし、日本人社員が日本へ一時帰国することは認められています。

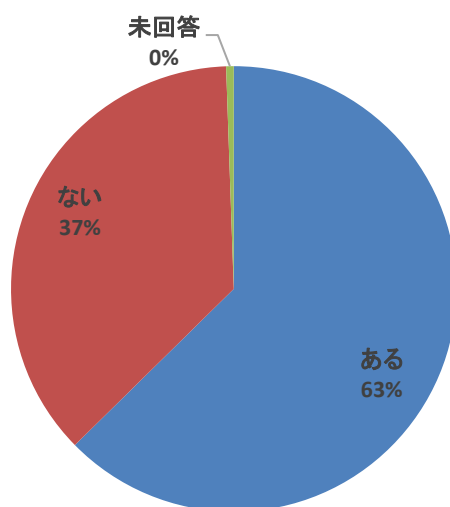
2. メキシコからの海外出張に制限はありますか。



■ 「ある」場合の国・地域:

- 原則全ての国、地域禁止
- アジア、米国、欧州、南米
- NAFTA 圏内以外は原則禁止。NAFTA 圏内でも基本的には自粛。
- 4月15日まで、すべての海外への不要不急の場合は禁止
- 中国、日本、韓国、イタリア、サンマリノ、アメリカ、パラグアイ、ペルー、グアテマラ、イラン、エジプト、インド、タイ、マレーシア、ベトナム、インドネシア、台湾

3. メキシコ国内出張に制限はありますか。

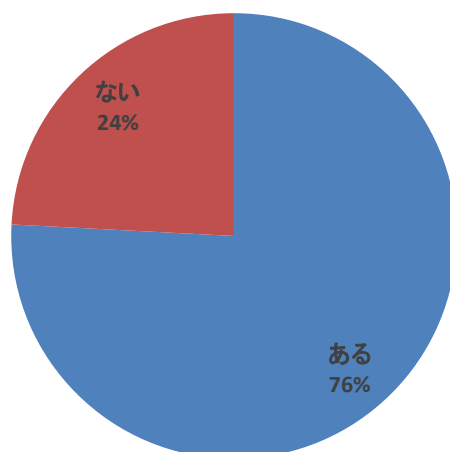


■ 「ある」場合の地域:

- メキシコ国内全般の出張禁止

- 飛行機での移動禁止
- 地域にかかわらず VP 承認
- 基本的に客先訪問も自粛。車で行ける範囲で顧客対応が必要な場合、重要度に応じ判断。
- 出張は車移動のみ
- 全地域においてすべて公共交通手段の使用禁止、Uber や社用車でのメキシコ国内移動は許可
- メキシコシティ
- ユカタン半島
- タマウリパス州
- グアナファト州

4. メキシコ国内での会議、行事やイベント等開催や参加に対する制約はありますか。

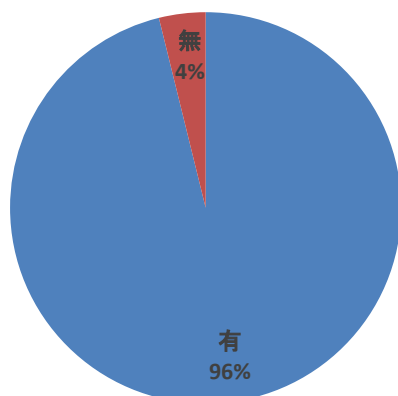


■ 「ある」場合の具体的な内容:

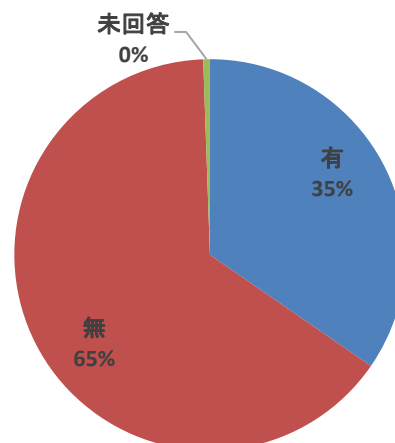
- 基本的には全ての社外会議、イベントへの参加は中止
- 大勢の人が集まるイベントは避けるべきであり、仮に参加した場合は一定期間の自宅待機が必要
- 100名以上の外部および25名以上の内部イベントへの参加制限
- 少人数でも濃厚接触となる可能性のある集会等は自粛。
- WHOが推奨する50名以上集まる場所への参加禁止
- 原則30名以上のイベント中止
- 20人以上の会議、行事は参加禁止
- 15名以下、1時間以内
- 10人以上の集会・会議
- 最大10名まで、距離を1.5-2m取る、を推奨
- 3人以上禁止。基本WEB会議。
- 来客との打合せを控える。
- イベント、セミナーへの出席は原則禁止。・会議は少人数(10名以内)でマスクの着用。
- 基本的にクラブ等の不特定多数が集まる場所には行かない
- 会社としてはできる限り参加しないが、個人での制限はない
- 基本的には屋内行事はすべて不可。
- マスクの着用、検温
- オンライン開催を除いてイベント・集会への参加自体を3月いっぱい中止
- 5月末まで緊急でないものは中止、従業員の参加禁止
- 数名での会議は基本的に許可

5. メキシコ事業所内での対策に関して

①アルコール消毒剤の有無



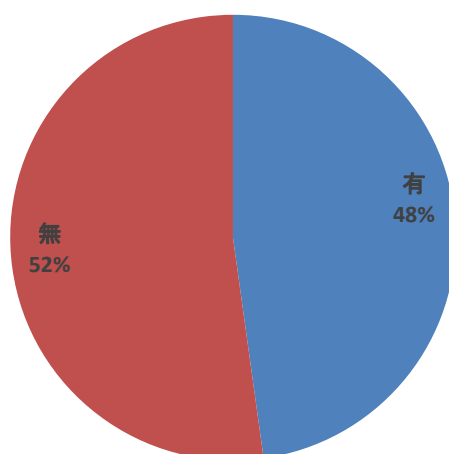
②マスクの着用有無



■ その他対策:

- 出勤時検温、37°以上は入場させない。
- 在宅勤務実施
- 手洗い、うがい、換気励行。ハグ、握手棟は自粛。
- 弊社ではノンアルコールの天然原料を用いた有機殺菌剤 Disinfect All(商標)を使用して、会社への出入り、職場環境、食堂、社員のパーソナルケア(うがい、手指の殺菌、口や鼻など呼吸器官の入り口となる身体部位の殺菌)を徹底しています。外部からの訪問者には入り口で靴底や手指を同じ殺菌剤で消毒して頂いています。

6. 在宅勤務の有無

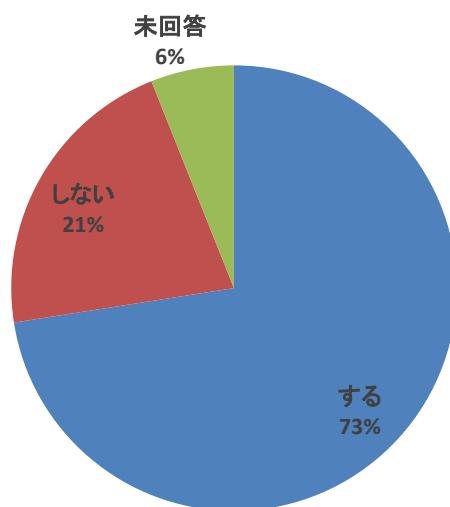


■ 「有」の場合のルール:

- ビデオで各メンバーを常時つないでいる。
- 業務計画の事前承認と実績報告

- 勤務時間帯は通常と同じ。始業時に一日の業務プランをマネージャーに提出。昼休み休憩に入る時・戻る時にはマネージャーに報告。終業時には計画に対しての実績および問題点等を同じフォーマットに記入してマネージャーに報告。これらに従わなければ正式な勤務実績にはカウントされない、など。
- 会社 PC のみ使用可。毎日の定例テレビ会議参加
- 就業時間中はいつでもアクセスできる環境を整えておく。
- 毎日レポート、できるだけ家から出ないこと
- 原則全員。電話は携帯電話に転送。
- 通常と同じ労働時間で在宅勤務する。その際、社内用コミュニケーションツール (Skype) をオンラインにしておく。上長への業務実施レポートの提出。
- 外出禁止、始業時間に上司に業務開始連絡、就業時間に上司へ当日の仕事の成果を連絡。
- 朝礼への参加、メールや電話に即座に応答する事、在宅勤務中に達成すべき目標と成果の報告など
- 部門・チーム毎に毎日 WEB 上での MTG を実施。始業時に本日のタスクを上長に共有し、終業時にタスク進捗を報告させる。
- オフィス従業員は交代制にて在宅勤務を開始
- 公共交通機関利用の一般職は全勤務日。社用車利用の管理職は必要に応じて出社。セールスは通常通り直行・直帰。
- 3月23日～4月3日まで。事務所への出勤は上長の許可制。
- 3月19日から実施し始業・終業時には責任者へメールで状況を報告義務付け。
- 子供がいる母親や当該ウイルスの影響によって特別な対処が必要な社員について対象

7. 感染の疑いがある従業員に対して会社が自宅待機を指示した場合、給与を補償しますか。



■ 「する」場合:

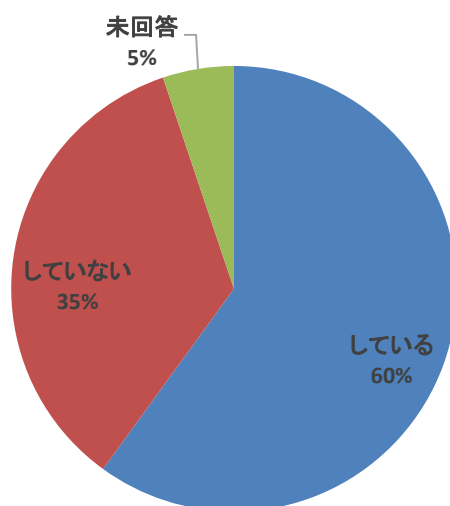
- メキシコの法令に従う。
- 日本の対応に準ずる。
- 100%にて考えているが、労使双方のメリットと法律に準じて対処する。
- 50-80%で調整中
- 有給休暇消化または振替をする条件のもと、給与を支給する。
- 会社指示の自宅待機という理解で有給無事故扱い
- 在宅勤務が出来れば在宅勤務、出来ない状況であれば病欠休暇、有給休暇など
- 現状のルールでは発熱がある場合は、帰宅として、当日の給与は補償。それ以降については欠勤扱い。ただし、今後は政府方針に合わせる予定
- IMS または他の医療機関診断による
- 基本的には IMSS に行ってもらうが、IMSS から診断書が出ない場合は 6 割負担

- 有給休暇を先に使用
- 基本的には有給消化をお願いする。
- 後に感染と証明された場合は補償する。単なる風邪の場合は有給消化とする。
- 今回の事案は、特別有休という扱いを考えています。
- 自宅待機の期間、不足する有給休暇日数を増やす予定。
- 個人旅行で禁止地域の場合は、無休
- 初日のみ。

■ 「しない」場合:

- ただし、子供がいる場合で本人以外の身内の感染(もしくは疑い)がある場合に、自宅待機を会社が命じた場合は給料を支払うことを検討
- 有休休暇としての対応
- IMSS の給与補償を利用
- まだ明確には決められていないが、有休消化もしくは残業にて対応してもらおう考え
- 在宅勤務という形をとるため、通常勤務と同じように給与支払いを行う。
- 現在は有休利用させ、不測時は振替勤務を命じることとしたい。
- 判断基準の作成が困難な為

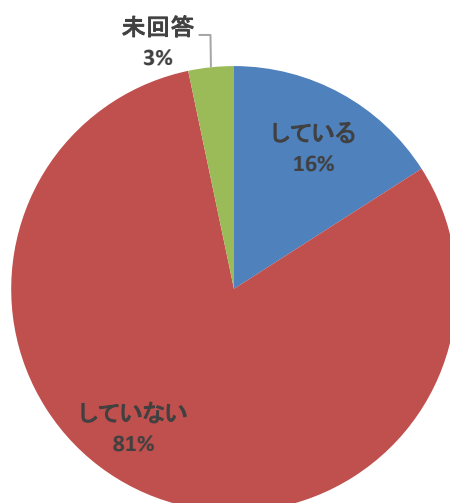
8. 事業所内に感染者が出た場合の対策を検討していますか。



■ 「検討している」場合の具体的な内容:

- 全員検査を受け、2 週間在宅勤務
- 濃厚接触者の在宅勤務
- 発熱等体調不良の傾向が見られる場合は検査結果を待たず即自宅待機を指示。家族に感染者が出た場合も出社禁止を通達済み。
- 事務所の閉鎖、消毒。在宅勤務。
- 受け入れ先病院のチェックなど事前対策を立てている。
- 感染者発生時のマニュアルを作成
- 本社への報告、本社からのガイドラインに基づいた対応
- WHO 発行のガイドラインに従って対応する
- メキシコ政府指針に従う

9. 帯同家族の一時帰国を実施または検討していますか。



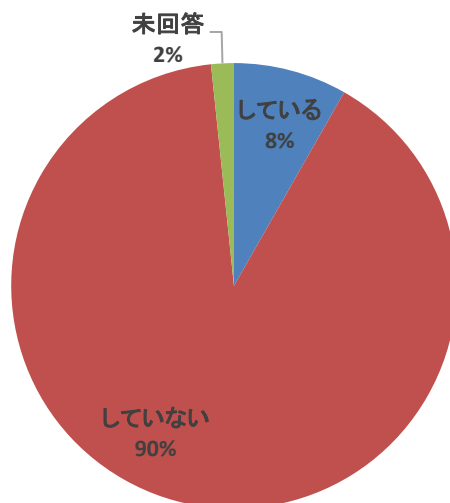
■ 「している」場合:

- メキシコは医療機関が充実していない為。
- 帰国希望者の費用会社負担検討中
- 帰国を希望する帯同家族につき、フライト費用を会社負担とする一時退避を認める
- 会社からの援助は無いが、家族に関しては 19 日に帰国済み。
- 感染拡大状況や政府の対策にもよるがメキシコの出入国が困難になる前にその必要があると考えている。
- 外務省感染症危険レベル 2 になった時点で検討する
- 3 月 20 日以降交通費本社負担による実施導入
- 家族一時帰国について本社の了解を得ているので状況により判断をする。

■ 「していない」場合:

- 帯同家族なし
- メキシコには一定の医療レベルありとの判断
- 必要性を徐々に感じ始めている
- 現状では日本に帰国するリスクの方が高い
- Fase 3 に入ったら検討(要状況確認)
- 不徳の事態を除き、一時帰国を見合わせる
- 本人および帯同家族の意向を尊重
- 飛行機を使うことを禁止
- 推奨していない。

10. 駐在員の一時帰国を実施または検討していますか。



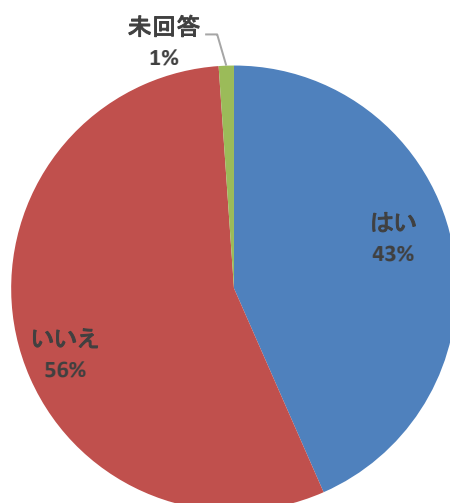
■ 「している」場合:

- 同じ工業団地の企業の状況に合わせて判断します。
- 特に個人に特別な疾患がある場合には帰国も必要と考えている。
- 外務省感染症危険レベル3になった時点でレベル1以下の地域へ勤務地変更する

■ 「していない」場合:

- メキシコには一定の医療レベルありとの判断
- 感染症危険情報レベル2になったら検討
- 状況により変化する可能性あり。
- 今後更に事態が悪化するとメキシコへ再入国できないリスクがある。
- 現時点で飛行機への搭乗時、飛行場での感染の危険が大きいと考える
- 不徳の事態を除き、一時帰国を見合わせる
- 日本本社から一時帰国自粛通達あり。

11. 日本への個人的な一時帰国を許可していますか。



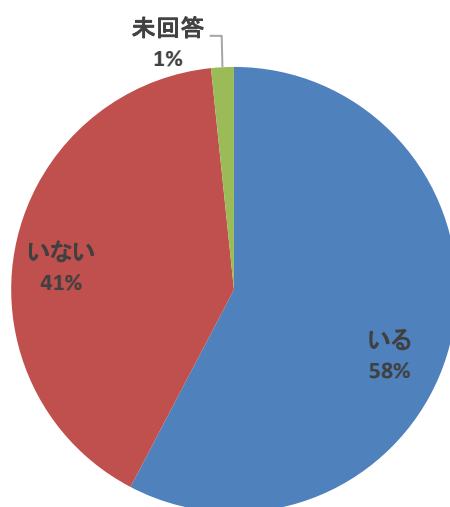
■ 「許可している」場合：

- 不要不急は自粛。緊急の場合(冠婚葬祭健康上など)のみ認める。
- ただし戻ったら2週間自宅待機または在宅勤務
- 個人旅行の制限はないが、旅程等を会社に報告する。
- 本人の希望を尊重するも、必要不可欠かどうかを事前に確認予定。
- やむを得ない場合のみ社長承認、ただし帰国後14日在宅勤務

■ 「許可していない」場合：

- 原則禁止だが、例外はある。
- メキシコへの入国が出来なくなる恐れあり。一時帰国休暇は現状延期。
- 不徳の事態を除き、一時帰国を見合わせるよう指導している
- 飛行機を使うことを禁止
- 3月4月一時帰国を延期

12. 海外滞在後のメキシコ入国者に対して何等かの制限を設けていますか。



■ 「制限を設けている」場合：

- 原則入国禁止
- 前後14日間の検温とマスク着用義務
- 14日間自宅待機
- アメリカ、日本は2週間自宅待機、南米は1週間
- CDCレベル3以上の国からの場合2週間自宅待機。
- 越境の出張を禁止
- 事務所内への立入り禁止
- 出社前の検温、マスク着用、産業医の問診
- マスク着用と手洗い

13. 質問/要望/風評被害など

■ 質問/要望

- 日本人駐在員が相談できるドクター、病院の紹介をお願いします。
- メキシコの国としての方針があれば和訳もしくは英訳でも良いのでShareして頂きたい。
- 現在マスクが全く手に入らないため、日本人社員が持ってきたマスクで対応していますが在庫がなくなってきているので、もしマスクが購入できる情報があればご教示いただきたいです。
- ぜひ頻繁な情報発信をお願いしたいです。
- 既に北米の自動車メーカーが生産停止を決めたりしていますので、コロナウイルスの影響で、今

後メキシコ経済にもダメージが来ることが予想されます。これによる犯罪の増加、治安の更なる悪化が非常に懸念されます。この辺の状況を事が起こる前に注意喚起して欲しい。

- メキシコへの出入国、あるいはメキシコ国内での行動制限などが政府などから発表がありましたら、随時情報共有をお願いします。
- 可能であれば、各州政府(例:ケレタロ)で Emergency Statement が発令された場合、Statement 全文でなくとも、要点をかいつまんで共有していただけると大変助かります。
- メキシコ国内の感染マップを提供して欲しい。
- 政府の対応方針(飲食店の開店制限、会社の自宅勤務推奨など)がありましたら、メールで配信して頂けると幸いです。
- メキシコ政府(およびその傘下の公的機関)からの正式な通達を随時カマラから発信していただけると助かります。メキシコ人スタッフの話は、時々個人の意見なのか公的通達なのか不明な時があり、企業としては、少なくとも公的な通達は理解しておくべきと考えます。
- 感染者が出た場合、政府への報告や監査など具体的なルールがあれば教えてもらいたい。
- メキシコにおける医療機関の対応状況について、情報共有を頂ければと存じます。

■ 風評被害

- 歩いていたらコロナウイルスと言われた。買い物をしていたら、執拗に何人か聞かれた。
- 街で「コロナ！」と中傷を受ける駐在員又はその家族が出ている。
- 直接風評被害にあったことはありませんが、友人がメキシコ国内でバスを利用し旅行中に、アジア人であることを理由にバスに乗せてくれないことがあったとのことです。
- 日本人を見て「コロナウイルス」と現地の人たちが話しているのをよく耳にするようになりました。
- 日本人駐在員妻が道端で見知らぬメキシコ人(若い男性)にコロナウイルスと声をかけられたので怒って注意したら謝ってきた。
- 今月 13 日に Volaris を国内便で使用した際に、乗せてもらえなかった。病院を進めるといわれた。チワワ空港にて。クレーム済みだが対応無し。込み合っている模様。
- アジア人と云うことで Uber に乗車拒否されたと聞いています。

■ その他コメント

- マスク、消毒ジェルの入手が困難です。
- 継続して調査および情報展開をお願いいたします。
- コメントが的に外れているかもしれませんが、あえて言うなら、メキシコ人の感染及び感染予防に対する意識が低いことが問題。意識が上がる正しい情報の提供をメキシコ国内で行ってほしい。
- 公共交通機関を使用して通勤する生産、研究関連社員の居住地をリストアップして、会社が手配した複数車両での巡回送迎を計画している。社員を通じ、その家族の手洗い習慣、行動指針の周知徹底をしている。
- 2009 年のインフルエンザより大変なのにメキシコ政府の対応が甘い。
- メキシコ人がマスク/手袋着用する姿をよく見かけるようになりました。
- メキシコにはコロナウイルスの検査キットが充分にあるのでしょうか？個人的な意見ですが、メキシコでコロナウイルス感染と確認された人の数が少ないのは検査がされていないからのようにも思えます。病院では、風邪でもインフルエンザでもない症状の人が山ほどいるという話を耳にしたことがあります。今後メキシコでも感染者が急増した時に、医療体制が整っているのかが心配です。
- 空調設備のコロナウイルス拡散影響や空気清浄機の効果について問い合わせ複数あり。
- 外出禁止令が出される、もしくは似たような状況になれば治安の悪化は免れないと判断し、家族は早々に帰国させた。帰国便は通常より高額になっており、旅行代理店によると予約はいっぱいとの事だったが、実際に登場してみると 3 分の 1 程の埋まり具合で、空席が目立った。
- 今後、USA の状況悪化が長引けば、車両生産台数が落ち込み、この地域においても従業員の解雇に繋がる恐れがある。
- 早いタイミングでのアンケートを実施して、各社の状況が良く分かり、参考になります。
- 日本人社員よりメキシコ人社員がコロナウイルスに敏感になっていると感じる。
- 今後メキシコでの感染者は爆発的に増える事が予測され、状況は悪化の一途としますので、本アンケートは定期的に継続して頂けると、大変参考になります。